

カリキュラム

機構施設名：和歌山職業能力開発促進センター
実施機関名：(株)東京ナレッジプラン

D. データ活用	109データベースを活用したデータ処理(応用編)
データベースソフト活用	

コースのねらい	業務の効率化を目指し、データベースソフトの機能であるデータ間の関係性を利用した処理や目的にあったデータの抽出・更新処理、ユーザの入出力画面の作成方法を習得する。
---------	--

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間(H)
	1 リレーションシップと参照整合性	(1)リレーションシップとは アクセスの特徴であるリレーションシップについて学びます。 (2)参照整合性 リレーションシップを設定する時に考慮すべき「参照整合性」「フィールドの連鎖更新」「レコードの連鎖削除」について学びます。 (3)リレーションシップ／参照整合性の設定 特定の条件を満たすレコードを抽出して新しいテーブルを作成するテーブル作成クエリを作成します。 【演習】リレーションシップの設定 など (4)参照整合性の確認 データを変更、削除した後に関連付けられたテーブルのデータの確認します。 【演習】参照整合性オン、オフの違い	2.0
	2 クエリの活用	(1)複数テーブルからのクエリ作成 リレーションを組んだことにより作成できるクエリを学びます。 【演習】金額フィールドの作成 など (2)アクションクエリ 更新クエリ、テーブル策作成クエリ、テーブル作成クエリ、削除クエリ、追加クエリの作成と使い方、注意点について学びます。又、リレーションシップの参照整合性の意味を再確認します。 【演習】各アクションクエリの作成と動作確認	2.0
	3 フォームの活用	(1)メインフォーム／サブフォーム 関連付けられたことによるテーブル、クエリ等から作成できるメインフォームとサブフォームを作成します。 【演習】メイン・サブフォームの作成 など (2)フォームの編集 コントロールの種類を学び、作成したフォームをレイアウトビュー・デザインビューで編集します。コンボボックスの作成もします。 【演習】レイアウトビューの使用、コンボボックスの作成 など (3)入力しやすいフォームに タブストップとタブオーダーを設定し、より入力しやすいフォームに編集します。 【演習】タブストップとタブオーダー など	2.0
合計時間			6.0

カリキュラム作成のポイント
リレーションを設定することにより複数のテーブルをつなぎます。同一項目の複数入力・入力ミスを軽減し、作業効率を目指します。誰もが入力しやすいフォームを作成します。

訓練に使用する機器等	
●機器・ソフトウェア(受講者用)	●機器・ソフトウェア(講師用・その他)
・PC(受講人数分) ・OS:Windows 10 or 11 ・アプリケーション:Microsoft Office 2019 or 365 Access	・PC(講師用) ・OS:Windows 10 or 11 ・アプリケーション:Microsoft Office 2019 or 365 Access
●使用するテキスト	●その他
オリジナルテキスト	講習の進み具合や受講生の進度の差により、予備練習問題、課題準備あり

利用事業主に用意を求める機器等	備考
・プロジェクタ ・スクリーン ・ホワイトボード ・マーカー(赤・黒)	